

2011 年 9 月 7 日

各位

エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel:03-6713-4400

2011 年度エクソンモービル児童文化賞・音楽賞 受賞者決定のお知らせ

エクソンモービル・ジャパングループ（代表:P. P. デューコム）は、2011 年度エクソンモービル児童文化賞及びエクソンモービル音楽賞の受賞者を次の通り決定しましたので、お知らせいたします。受賞者にはそれぞれトロフィーと副賞賞金 200 万円が贈られます。

なお、来年 4 月には仙台市において本年度の音楽賞洋楽部門本賞受賞者である仙台フィルハーモニー管弦楽団により、エクソンモービル・ジャパングループ主催の東日本大震災復興支援コンサートが行われる予定であることも、あわせてお知らせいたします。

<敬称略>

第 46 回 エクソンモービル児童文化賞 受賞者

河合 雅雄 （かわい まさを） 霊長類学者

第 41 回 エクソンモービル音楽賞 受賞者

邦楽部門 豊竹 咲大夫 （とよたけ さきたゆう） 文楽義太夫節大夫

洋楽部門 本賞 公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラ
（こうえきざいだんほうじん
せんだいフィルハーモニーかんげんがくだん）

洋楽部門 奨励賞 栗國 淳 （あぐに じゅん） オペラ演出

私たちエクソンモービル・ジャパングループは、企業も社会を構成する市民の一員であり、社会に役立つ活動を続けていくことは企業の大切な責任のひとつであると考えています。この理念に基づいて、長年さまざまな社会・文化貢献活動を展開してきました。エクソンモービル児童文化賞及びエクソンモービル音楽賞は、わが国の児童文化、音楽文化の発展、向上に尽くしてこられた方々をたたえ励ますもので、今年でそれぞれ 46 年目、41 年目を迎えました。私たちは、人々が感動し笑顔になれるような社会・文化貢献活動をこれからも進めていきたいと考えています。

以上

- 添付 1: 贈賞理由及び受賞者のプロフィール
- 添付 2: 受賞者の写真
- 添付 3: エクソンモービル児童文化賞・音楽賞の概要
- 添付 4: 歴代受賞者リスト

エクソンモービル有限会社 および エクソンモービル・ジャパングループについて

エクソンモービル・ジャパングループは、エクソンモービル有限会社を中心に、東燃ゼネラル石油株式会社、東燃化学株式会社を含む複数の子会社・関連会社で構成されています。エクソンモービル・ジャパングループは、日本を代表する石油製品、潤滑油、石油化学品の製造・販売業者であり、その創業は1893年にさかのぼります。エクソンモービル有限会社は、米エクソン モービル コーポレーションが 100%の株式を間接的に保有する子会社です。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しており、エクソンモービル有限会社が 50.02%の株式を保有する子会社です。 詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。

www.exxonmobil.jp/ , www.tonengeneral.co.jp

1. 第 46 回 エクソンモービル児童文化賞

河合 雅雄 (かわい まさを)

霊長類学者

〒669-2335 兵庫県篠山市乾新町 101

Tel / Fax: 079-552-0305

◆ 贈賞理由 ◆

世界的なサル学の権威である河合雅雄氏は、『少年動物誌』、『小さな博物誌』、『河合雅雄の動物記』などの著作で、子どもたちに自然や動物への興味や関心を培うとともに、草山万兎の筆名で『ゲラダヒヒの紋章』、『ジャングルタイム』などの児童文学作品も多数発表し、子どもの文化に多大な功績を印してきた。『子どもと自然』では、霊長類学者として人間と文化に対する深い洞察に基づき、子どもにとっての遊びの大切さを提言するなど、その知見は親や教師はもちろん、子どもに関わる多くの人たちに示唆的であった。また、子どもを対象にした自然・環境教育の分野での実践活動の功績も高く評価されている。東日本大震災以降、明日の子どもたちと自然や環境を考える上で、同氏を顕彰することの今日的意味は大きい。

(児童文化賞 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

1924 年兵庫県生まれ。京都大学理学部動物学科卒。理学博士。今西錦司に師事し霊長類学の創出に参加。(財)日本モンキーセンター、ついで京大霊長類研究所の創設にあたり、日本独自の霊長類学の発展に全力を注いだ。主な研究フィールドはアフリカ。停年退官後、モンキーセンター所長、兵庫県教育委員、兵庫県立人と自然の博物館長、県立丹波の森公苑長、日本福祉大学生涯学習センター長を勤め、自然教育の普及とくに子どものそれに力を注ぎ、ボルネオジャングル体験スクール、縄文の森塾、森の学校などを開設した。著作は霊長類関係、自然教育、児童文学が主で、『子どもと自然』、『少年動物誌』はロングセラー。草山万兎のペンネームで児童文学の著作も多い。『ジャングルタイム』、『たまたまうっかり動物園上中下』、『河合雅雄の動物記 I-VI』、絵本に『野生動物の反乱』など。『河合雅雄著作集 13 巻』。2007 年に兵庫県立森林動物研究センターの設立に尽力し、名誉所長として人と野生動物の共存の問題に取り組んでいる。

◆ 主な受賞歴 ◆

1968 年	朝日賞
1976 年	第 14 回野間児童文芸推奨作品賞
1990 年	第 41 回日本放送協会放送文化賞
1990 年	紫綬褒章
1992 年	第 39 回サンケイ児童出版文化賞
1993 年	第 46 回毎日出版文化賞
2004 年	日本学士院エディンバラ公賞

2. 第 41 回 エクソンモービル音楽賞 邦楽部門

豊竹 咲大夫 (とよたけ さきたゆう)

文楽義太夫節大夫

〒543-0028 大阪府大阪市天王寺区小橋町 12-15-1202

Tel: 06-6764-6737

◆ 贈賞理由 ◆

豊竹咲大夫氏は文楽の代表的な大夫で、文楽において現在もっとも重要な活動をしている音楽家の一人である。豊竹山城少掾に 9 歳で入門し、9 歳で初舞台を行って以来、山城少掾、父の八世竹本綱大夫をはじめとする優れた音楽家の薫陶を受け、文楽の義太夫節の様式を身につけた。文楽の多くの古典作品を習得し、演奏を洗練させてきた。人間について深い洞察を必要とする近松作品を優れた解釈で演奏する一方、滑稽な場面も個性的に演奏する能力をもつ。新しい作品の演奏と創作にも努力している。豊竹咲大夫氏は文楽の上演に大きな功績を果たして、これからも文楽を導いていくことが期待される。

(音楽賞邦楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

1944 年大阪府生まれ。父は八世竹本綱大夫。1953 年 8 月、9 歳で豊竹山城少掾に入門し竹本綱子大夫を名乗る。同年 10 月、四ツ橋文楽座にて初舞台。1966 年、道頓堀朝日座にて初代豊竹咲大夫と改名。1969 年に東京国立劇場にて第一回「豊竹咲大夫の会」を開催。以後、東京、大阪、京都にて同会を開催する。2009 年には、浄瑠璃の最も重要な場面(切場)を語る資格を持つ「切場語り」に昇格。同年、日本芸術院賞を受賞し、文楽で初の親子での受賞となる。2010 年、三島由紀夫が歌舞伎のために書いた「鬮売恋曳綱」を新作文楽にするための作曲を鶴澤燕三と行った。文楽公演以外でも、テレビやラジオへの出演、歌舞伎や能楽など他ジャンルとの交流、和歌山大学講師を務めるなど幅広く活動を続けている。著書に、『近松門左衛門名作文楽考 女殺油地獄』、『咲大夫 まかり通る』がある。

◆ 主な受賞歴 ◆

1984 年	第一回咲くやこの花賞
1999 年	国立劇場文楽賞文楽大賞 (2004 年、2007 年、2010 年にも受賞)
1999 年	芸術選奨文部大臣賞
2004 年	大阪舞台芸術賞
2004 年	紫綬褒章
2009 年	日本芸術院賞

3. 第 41 回 エクソンモバイル音楽賞 洋楽部門本賞

公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
(こうえきざいだんほうじん せんだいフィルハーモニーかんげんがくだん)
オーケストラ

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町 1-3-9
Tel: 022-225-3934/ Fax: 022-225-4238
<http://www.sendaiphil.jp/>

◆ 贈賞理由 ◆

仙台フィルハーモニー管弦楽団は、1978年からの歴史をもつわが国を代表するオーケストラのひとつで、優れた音楽性と演奏に注がれる情熱と誠意により聴衆を魅了してきた。近年は常任指揮者にパスカル・ヴェロ、正指揮者に山下一史を迎えてさらなる躍進をとげ、東京公演、海外公演も積極的に行っている。さらにオペラや仙台国際音楽コンクールを支えるオーケストラとしても活躍し、演奏活動は多彩を極める。また社会貢献でも特筆すべき成果を挙げている。特に東日本大震災では自ら被災したにも拘らず、地域社会のためいち早く立ち上がり、連続して復興コンサートを実施してきた。音楽の力、演奏の力によりオーケストラがもつべき社会性を再認識させた点も高く評価しての贈賞となったことは、言うまでもない。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

1973 年、市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として創立。1978 年、社団法人化に伴い本格的なプロとしての活動を開始。1989 年、仙台フィルハーモニー管弦楽団と改称。1992 年、財団法人化。2010 年 9 月より公益財団法人へ移行。仙台市青年文化センターでの年間 9 回 18 公演の定期演奏会を中心に、年間およそ 120 公演を展開。2010 年 10 月には、パスカル・ヴェロ指揮による第 250 回定期演奏会(ドビュッシー:『ペレアスとメリザンド』)が絶賛された。仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラを務めるほか、映画「劔岳 点の記」(2010 日本アカデミー賞・最優秀音楽賞受賞)の音楽も担当。東日本大震災により予定していた演奏活動のほとんどが中止となったが、「音楽の力による復興センター」を立ち上げ、“つながれ心 つながれ力”を掲げ音楽を届けながら絆を紡ぐ活動を展開している。常任指揮者にパスカル・ヴェロ、正指揮者に山下一史、首席客演指揮者に小泉和裕を擁する。

◆ 主な受賞歴 ◆

2000 年 第 49 回河北文化賞
2006 年 宮城県芸術選奨

4. 第 41 回 エクソンモービル音楽賞 洋楽部門奨励賞

粟國 淳 (あぐに じゅん)

オペラ演出

◆ 贈賞理由 ◆

台本に描かれた劇的世界を音楽がいかに表現しているかをスコアからの確に読取り、劇と音楽のバランスの上に新しい視点や解釈の提示が求められるオペラ演出は、その機会が限られるわが国ではまだ途上にある領域である。しかしここ数年の間に、『トゥーランドット』や『コジ・ファン・トゥッテ』、『ホフマン物語』、『アイーダ』等で、独創的かつ想像力溢れる舞台を展開し、わが国のオペラ演出に新しい可能性と未来を感じさせたのが粟國淳氏である。着想の奇抜さ、目の覚めるようなファンタジーの視覚化、新しい意味の発見、劇と音楽の見事な融合など、オペラの妙味を存分に味わわせてくれる能力は高く評価できる。今後、わが国のこの領域における中心的存在となることを期待して、洋楽部門奨励賞を贈呈する。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

東京生まれローマ育ち。サンタ・チェチーリア音楽院でヴァイオリンと指揮法を学ぶ。オペラ演技・演出法を M. ゴヴォーニ女史に師事。ローマ歌劇場演出部を経て、H. ブロックハウスや P. ファッジオーニ等の片腕として演出助手を務める。2003年イタリア・サッサリヴェルディ歌劇場「アンドレア・シェニエ」でイタリアデビュー。日本でも F. ゼッフィレツリ、L. ロンコーニ等巨匠達の演出助手を務めた後、1997年藤原歌劇団公演『愛の妙薬』で演出デビュー。新国立劇場『ラ・ボエーム』、びわ湖ホール『アイーダ』、東京二期会『トゥーランドット』などを手掛け、日本、ヨーロッパで活躍。印象的かつスタイリッシュな舞台を繰り広げながら、そのベースに終始一本の絹糸が通っているかの様に細やかな人物像を丹念に描き上げる手法は、観た者に深い余韻を残す。2011年秋「あいちトリエンナーレ2010・オペラ『ホフマン物語』」の演出作品が海外へ逆輸出されるなど、抜群の劇場センスと緻密な演出が国内外から高く評価されている。

エクソンモービル児童文化賞・エクソンモービル音楽賞 概要

エクソンモービル児童文化賞及びエクソンモービル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。毎年、児童文化賞、音楽賞邦楽部門、音楽賞洋楽部門本賞、音楽賞洋楽部門奨励賞の4賞につき、各々1個人または1団体が選ばれ、それぞれトロフィーと副賞賞金200万円が贈られます。

【エクソンモービル児童文化賞】

1966年に創設された児童文化賞は、今年で46回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

【エクソンモービル音楽賞】

1971年に創設された音楽賞は、今年で41回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに19人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点を置いた選考を行っている点がこの賞の特色です。

選考方法

児童文化界、音楽界の有識者の方々に受賞候補者の推薦を依頼し、その結果を参考にして、各部門3名の選考委員により構成される選考委員会において審議の上、受賞者を決定しました。

選考委員（敬称略、順不同）

【児童文化賞】	松居 直	児童文学者
	近藤 康弘	こども番組プロデューサー
	野上 暁	こども文化研究家
【音楽賞 邦楽部門】	榎本 由喜雄	邦楽評論家
	徳丸 吉彦	聖徳大学教授、放送大学客員教授、 お茶の水女子大学名誉教授
	山川 直治	日本音楽研究家
【音楽賞 洋楽部門】	関根 礼子	音楽評論家
	中村 孝義	大阪音楽大学理事長・学長
	諸石 幸生	音楽評論家

添付 4-1: エクソンモービル児童文化賞・音楽賞の歴代受賞者リスト

エクソンモービル児童文化賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1966	初山 滋 * 日本童話会	童画家 会長・後藤 樽根 *
2	1967	千葉県三 * 人形劇団プーク	童話作家 代表・川尻泰司
3	1968	椋 鳩十 * ダークダックス	児童文学者 コーラスグループ
4	1969	金沢嘉市 * 市川市立養護学校の詩集「いずみ」	教育評論家
5	1970	真理ヨシコ 戸塚 廉 *	童謡歌手 「おやこ」新聞編集発行
6	1971	吉澤 章 *	折り紙作家
7	1972	管野邦夫	仙台市野草園園長
8	1973	アン・ヘリング	児童文学研究家
9	1974	滝平二郎 *	きり絵作家
10	1975	辻村ジュサプロー	人形作家
11	1976	富田博之 * 劇団「風の子」	青少年文化研究者 代表・多田 徹
12	1977	坂本小九郎と湊中学校養護学級の生徒達	美術教育と版画制作
13	1978	佐野浅夫 瀬川康男 *	俳優 絵本作家
14	1979	田沼武能	写真家
15	1980	渡辺茂男 *	児童文学者
16	1981	ろばの会	作曲家グループ
17	1982	富山県立近代美術館	館長・小川正隆
18	1983	萩本欽一	TVタレント
19	1984	長崎県外海町	町長・平野武光
20	1985	東京放送児童合唱団	代表・近藤真司
21	1986	手で見るギャラリー・TOM	代表 村山亜土・村山治江
22	1987	ボニージャックス	コーラスグループ
23	1988	人形劇カーニバル飯田実行委員会	実行委員長・松澤太郎
24	1989	岡本忠成 *	アニメーション作家
25	1990	与田準一 *	童謡・童話作家
26	1991	今西祐行 *	児童文学作家

27	1992	「中学生日記」	NHKテレビ番組
28	1993	松居 直	福音館書店会長
29	1994	香川県大川郡大内町	町長・中條弘矩
30	1995	「まんが日本昔ばなし」	テレビアニメ番組:愛企画センター制作
31	1996	神沢利子	児童文学作家
32	1997	阪田寛夫*	詩人・作家
33	1998	細川真理子	「札幌こどもミュージカル」代表
34	1999	太田大八	絵本画家
35	2000	谷川俊太郎	詩人
36	2001	大原れいこ	テレビ演出家
37	2002	長 新太*	絵本作家
38	2003	山中 恒	児童文学作家
39	2004	越部信義	作曲家
40	2005	松谷みよ子	作家
41	2006	演劇集団 円 円・こどもステージ	児童劇
42	2007	佐藤さとる	児童文学作家
43	2008	今江祥智	児童文学作家
44	2009	神宮輝夫	児童文学研究家・翻訳家
45	2010	今森光彦	写真家

(敬称略・*は故人)

添付 4-2: エクソンモービル児童文化賞・音楽賞の歴代受賞者リスト

エクソンモービル音楽賞邦楽部門 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	山口五郎 *	琴古流尺八
2	1972	松崎倭佳 * 稀音家幸 *	長唄 三味線
3	1973	菊原初子 *	地歌 箏曲
4	1974	田中伝左衛門 *	歌舞伎 長唄囃子
5	1975	杵屋正邦 *	現代邦楽作曲
6	1976	観世寿夫 *	能楽 シテ方
7	1977	山彦河良 *	河東節
8	1978	杵屋佐登代 *	長唄 唄方
9	1979	鶴田錦史 *	薩摩琵琶
10	1980	町田佳聲 * 福原百之助 *	邦楽研究評論 長唄 囃子笛方
11	1981	太田里子 *	地歌 箏曲
12	1982	今藤長十郎 *	長唄 三味線
13	1983	都 一中 *	一中節 三味線
14	1984	常磐津文字兵衛	常磐津節 三味線
15	1985	浅川玉兎 * 竹本住大夫	長唄研究 義太夫節太夫
16	1986	杵屋五三郎	長唄 三味線
17	1987	中田博之 *	箏曲
18	1988	平井澄子 *	現代邦楽
19	1989	米川敏子 *	箏曲
20	1990	日本音楽集団	現代邦楽創造グループ
21	1991	尺八三本会	尺八
22	1992	宮田哲男	長唄 唄方
23	1993	一噌幸政 *	能楽笛方
24	1994	都一いき *	一中節
25	1995	藤井久仁江 *	地歌 箏曲
26	1996	竹本駒之助	女流義太夫
27	1997	芝 祐靖	雅楽
28	1998	観世榮夫 *	能楽 シテ方
29	1999	鶴澤清治	文楽 三味線方
30	2000	田島佳子 *	長唄 三味線方
31	2001	山本東次郎	大蔵流狂言

32	2002	川瀬白秋	箏曲 胡弓
33	2003	大和久満	大和楽 三味線方
34	2004	米川裕枝	箏曲
35	2005	味見 亨	長唄 三味線方
36	2006	野坂恵子	箏曲
37	2007	横道萬里雄	楽劇評論
38	2008	今藤政太郎	長唄 三味線方
39	2009	藤舎呂船	邦楽囃子
40	2010	近藤乾之助	能楽 宝生流 シテ方

(敬称略・*は故人)

添付 4-3: エクソンモービル児童文化賞・音楽賞の歴代受賞者リスト

エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	江藤俊哉 *	ヴァイオリン
2	1972	朝比奈 隆 *	指揮
3	1973	東京室内歌劇場	オペラ
4	1974	巖本真理弦楽四重奏団 *	室内楽
5	1975	小澤征爾	指揮
6	1976	鈴木鎮一 *	音楽教育
7	1977	園田高弘 *	ピアノ
8	1978	音楽之友社	音楽総合出版
9	1979	小林道夫	チェンバロ
10	1980	二期会	声楽研究・オペラ公演
11	1981	武満 徹 *	作曲
12	1982	渡辺暁雄 *	指揮
13	1983	札幌交響楽団	オーケストラ
14	1984	野村光一 *	音楽評論
15	1985	東 敦子 *	ソプラノ
16	1986	藤原歌劇団	オペラ
17	1987	堤 剛	チェロ
18	1988	アンリエット・ピュイグ＝ロジェ *	ピアノ
19	1989	吉田雅夫 *	フルート
20	1990	三善 晃	作曲
21	1991	若杉 弘 *	指揮
22	1992	中澤 桂	ソプラノ
23	1993	和波孝禧	ヴァイオリン
24	1994	松村禎三 *	作曲
25	1995	今井信子	ヴィオラ
26	1996	秋山和慶と東京交響楽団	
27	1997	畑中良輔	バリトン・音楽評論
28	1998	松本美和子	ソプラノ
29	1999	鈴木雅明とパツハ・コレギウム・ジャパン	
30	2000	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス	
31	2001	西村 朗	作曲
32	2002	海老彰子	ピアノ
33	2003	福井 敬	テノール

34	2004	小栗まち絵	ヴァイオリン
35	2005	中村紘子	ピアノ
36	2006	モーツァルト劇場(主宰:高橋英郎)	オペラ
37	2007	前橋汀子	ヴァイオリン
38	2008	ゲルハルト・ボッセ	指揮
39	2009	大野和士	指揮
40	2010	田中信昭	合唱指揮

(敬称略・*は故人)

添付 4-4: エクソンモービル児童文化賞・音楽賞の歴代受賞者リスト

エクソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1989	吉野直子	ハープ
2	1990	漆原朝子	ヴァイオリン
3	1991	長谷川陽子	チェロ
4	1992	佐久間由美子	フルート
5	1993	仲道郁代	ピアノ
6	1994	錦織 健	テノール
7	1995	千住真理子	ヴァイオリン
8	1996	高橋薫子	ソプラノ
9	1997	樫本大進	ヴァイオリン
10	1998	若林 顕	ピアノ
11	1999	佐野成宏	テノール
12	2000	横山幸雄	ピアノ
13	2001	森 悠子主宰長岡京室内アンサンブル	
14	2002	矢崎彦太郎	指揮
15	2003	川田知子	ヴァイオリン
16	2004	斉田正子	ソプラノ
17	2005	渡辺玲子	ヴァイオリン
18	2006	篠崎和子	ハープ
19	2007	藤村実穂子	メゾソプラノ
20	2008	幸田浩子	ソプラノ
21	2009	趙 静	チェロ
22	2010	藤倉 大	作曲

(敬称略)